

2010年度下期の発受電速報

<発受電電力量>

1. 全国の概要

2010年度下期の発受電電力量は、産業用需要が堅調に推移したことなどから、10社計で4,912.9億kWh、前年同期比 101.6%となった。

(主な内訳)

「水力」：出水率が前年同期値を下回ったことなどから、231.6億kWh、前年同期比 95.3%となった。

「火力」：発受電電力量全体が増加したことなどから、2,477.2億kWh、前年同期比 106.5%となった。

「原子力」：設備利用率が前年同期値を下回ったことから、1,338.4億kWh、前年同期比 95.2%となった。

(参考 日本原電除きの設備利用率：当年度 66.2%，前年度 69.8%)

<出水率>

沖縄を除く9社計では 98.3%となった。

2. 発受電電力量実績の概要(10社計)

(単位：千kWh，%)

	当 期		至近3期の対前年同期増加率		
	実 績	対前年同期増加率	2010年度上期	2009年度下期	2009年度上期
発受電電力量	491,292,367	1.6	8.8	1.8	8.2
発電内訳	水力	23,160,099	4.7	18.9	8.6
	火力	247,724,121	6.5	6.2	4.9
	原子力	133,841,730	4.8	9.4	12.0
	新エネルギー等	1,228,869	4.4	12.3	3.8
他社受電	88,164,622	1.0	13.1	4.5	9.4
揚水動力	2,827,166	3.1	46.5	6.5	22.6
出水率	98.3	(前年同期値) 105.1	106.2	105.1	89.4
原子力設備利用率 (含む日本原電)	67.7	(前年同期値) 68.5	67.0	68.5	63.0

注：電気関係報告規則等の一部を改正する省令により、2010年5月分より以下の変更を行っています。

- ・発電内訳に「新エネルギー等（風力、太陽光および地熱等）」の項目を新設
- ・地熱発電電力量を「火力発電」から「新エネルギー等」に区分変更
- ・「揚水動力」の項目を新設

なお、「火力」、「新エネルギー等」および「揚水動力」における対前年同期増加率は、当期および至近3期ともに、前年同期実績を変更後の区分にあわせて算定しています。

3. 発受電電力量の対前年同期増加率

(単位：%)

	2010年度	2010年度	2009年度	2009年度	2008年度	2008年度
	/下期	/上期	/下期	/上期	/下期	/上期
10社計	1.6	8.8	1.8	8.2	6.2	0.0

(注)：前年同期比マイナス

(参考)燃料実績：10社計(下期)

	石炭(t)	重油(kl)	原油(kl)	LNG(t)	ナガ(kl)
受入	27,258,579	2,894,891	2,284,991	22,352,611	0
消費	26,423,587	3,029,619	2,181,376	21,280,560	1,049